



## 大人としての第一歩

1月12日、産業文化会館で平成26年行田市新成人を祝う会が開催されました。

鮮やかな振り袖や真新しいスーツに身を包んだ701人が参加。お互いの近況を報告したり、昔話を花を咲かせたりと、旧友との再会を喜び合いました。また、出身中学校ごとにスライドショーが上映された他、豪華景品が当たる抽選会など趣向を凝らしたイベントが行われ、会場は大いににぎわいました。

二十歳の輝かしい門出を迎えた皆さんは、これからの社会を担う大人の一員としての自覚を持ち、新たな一歩を踏み出しました。



## 新たな気持ちで

12月31日、忍城址鐘楼<sup>しょうろう</sup>付近で「行田ゆく年くる年」が行われました。

除夜の鐘を突き、新たな気持ちで新年を迎えようと、家族や友人、カップルなど大勢の方が来場。鐘を突いた誰もが、ゆく年を思い、新たな年を迎える喜びを感じていました。また、元旦を迎えるカウントダウンや福袋などの販売も行われるなど、平成26年のスタートを飾るイベントとなりました。



## 食物繊維とタンパク質で健康アップ

1月9日・10日、VIVAぎょうだで市民けんこう大学・大学院第12回講座「行田在来青大豆入りゼリーフライづくり講座」が行われました。

今回は、良質なタンパク質を多く含む行田在来青大豆を具材に、食物繊維が豊富でヘルシーなゼリーフライを作り、おいしくて楽しい健康づくりに取り組むもの。参加者は、行田のソウルフード「ゼリーフライ」を少しアレンジするだけで、素晴らしい健康食品になることを実感していました。



## 1年の無事を祈って

1月11日、平成26年行田市消防出初式が行われ、消防職団員220人が結束を図りました。

この式は、市民の皆さんと共に1年の安全を願い、防火防災思想の普及を図ることを目的としたものです。市役所玄関前や産業文化会館前では服装規律点検や徒歩分列行進などが行われ、消防職団員は引き締まった表情で訓練に臨んでいました。また、式のフィナーレを飾ったのは、ポンプ車などによる一斉放水。防災ヘリコプターによる空中散水も行われ、水城公園に詰め掛けた観客らは歓声を上げていました。



## 今年も幸せな一年を過ごせますように

1月1日、古代蓮会館で「古代蓮会館迎春企画 タワーからみんなで見よう『初日の出』」が行われ、地上50メートルの高さからご来光を眺めるため、大勢の方が会場を訪れました。

午前6時50分ころ、ゆっくりと太陽が昇り始め、暖かな光がまちを包み込みました。家族や友人と記念撮影をしたり、太陽に向かって新たな年の幸せを祈願したりと、来場者はそれぞれの思いを胸に2014年の幕開けを迎えていました。

## 古代蓮会館の来館者数が70万人を達成

12月24日、古代蓮会館の来館者数が70万人を達成しました。

記念すべき70万人目となったのは、加須市からお越しの小林信哉さんと秋田めぐみさん。2人には認定証と記念品が贈られました。小林さんと秋田さんは初めて同館を訪れたそうで、この知らせを聞いたときに、とても驚いた様子でした。小林さんは「タワーからの眺めがとてもよかったです。蓮や田んぼアートを見ることができる時期にもう一度来てみたいです」と感想を述べていました。



## 迫力あるレースを繰り広げて

12月15日、上池守・星宮公民館周辺地区周回コースで、「『行田浮城のまち』平成25年度埼玉県クリテリウム競技大会」が行われました。

全4戦開催され、年齢別などのクラスごとに速さなどを競うこの大会。第1戦目となったこの日は、13歳から61歳まで453人が出場しました。観客からの声援を受けた選手たちは、肌を刺すような寒さをものともせず、一周2.7キロメートルの周回コースを力強く疾走していました。

